



まだ誰も知らない安心を、ともに。

〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿 1-28-1  
www.aioinissaydowa.co.jp

## 全国各拠点の什器をカーボン・オフセット製品へ順次切り替え

2023年4月13日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納 啓介）は、2023年4月より、全国各拠点で什器を導入する際、カーボン・オフセット製品<sup>※</sup>を選択することで、脱炭素社会の実現を後押しします。

第一弾として、株式会社イトーキのオフィスチェアを4月までに192脚導入し、スギ810本の1年間のCO<sub>2</sub>吸収量に相当する、計11.3t-CO<sub>2</sub>eqのGHG（温室効果ガス）オフセットを実現します。

※ 生産活動等を通じて排出されるGHGの埋め合わせを行うため、販売による売り上げを、植林や排出権（カーボン・クレジット）の購入等の環境保護に充てる製品のこと

### 1. 背景

地球温暖化の影響により、地球の平均気温は年々上昇しており、世界各地で異常気象・大規模災害が発生するなど、自然環境が大きく変化しています。地球温暖化は、大気中のGHGが増加したことが原因とされており、国・企業・地方公共団体等が一丸となってGHG排出量の削減を進めていますが、事業内容によっては削減が困難な場合があります。

そこで、他の企業等で実施しているGHG排出量削減活動に投資することで、社会のGHG排出量の削減に取り組むことができるカーボン・オフセットが注目を集めています。また、カーボン・オフセット製品の購入で、間接的に環境保護に取り組むことも潮流になりつつあります。

当社は、サステナビリティ重点取組項目の一つとして「健やかな地球環境を未来につなぐ～Planetary Health～」を掲げ、気候変動への対応やGHG排出量の削減に取り組んでおり、今般、脱炭素社会の実現を後押しするため、当社が株式会社イトーキから導入する什器を、順次、カーボン・オフセット製品にすることとしました。

### 2. 4月に導入するカーボン・オフセット製品の概要

製品名	・イトーキ torte U（トルテユー チェア）
本製品の特長	・原材料調達、生産、流通、廃棄・リサイクルの各プロセスにおいて排出する算定可能なGHGの全量をオフセット ・廃棄ペットボトルのリサイクル繊維100%で作られた布生地（サステナブルファブリック）を採用し、従来品との比較で生産時のCO <sub>2</sub> 排出量を約41%削減 ・背・座クッションや、キャスター等の消耗部品の取り替え・交換が可能であり、製品寿命が長く、廃棄物の削減に貢献
4月末までの導入拠点数	・10拠点
4月末までの導入数	・192脚（オフセットされるGHG排出量：11.3t-CO <sub>2</sub> eq）



### 3. 今後の展開

当社が保有する什器を随時カーボン・オフセット製品に入れ替えることで、気候変動問題等の解決に資するオフィス環境を構築し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



あいおいニッセイ同和損保は、「CSV×DXを通じて、お客さま・地域・社会の未来を支えつづける」ことを目指しています。最先端・独自の技術やデジタル・データの活用、特色あるパートナーとの協業により、お客さま・地域・社会が真に求める新たな価値を提供していきます。また、国内外のあらゆる事業を通じて、お客さま・地域・社会とともに社会・地域課題の解決にグローバルに取り組めます。

